

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		活動スペースが分かりやすくなるようにパーテーション等を活用している	多少運動も可能なスペースを確保できる人数での受け入れを行っている
	②	職員の配置数は適切である	5			適正な配置基準を満たしている
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		職員の補助や掲示物での注意喚起も含め可能な範囲で配慮を行っている	お子さんの特性によって、環境調整が必要な場合もある。お子さんの様子の変化や保護者の方の意見を傾聴していく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		余計なものは置かない。また、清潔面や衛生面に対する意識を高くもち、清掃・消毒を行っている	引き続き、感染予防対策への意識を高くもつ
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		定期的な会議の中で事業所の運営に PDCA サイクルを用いて業務の振り返りを行い方針を検討している	お子さんの様子や保護者の方のご意見を教室運営に取り入れた運営を引き続き行っていく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		毎年アンケート調査を行い、ご回答頂いた内容については事業所内で話し合いの場を作り職員間で共有を行っている	頂いたご意見を今後の業務改善に繋げられるよう努める
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			事業所の HP で公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		定期的な外部監査を行っている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		社内 Web 研修の参加や職員から希望が出た外部研修については業務に支障がない程度にできる限り受けられるよう対応している	引き続き、支援の質の向上や環境改善などを目的とした研修を受講し、より良い教室運営に努めていく
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アセスメントシートを活用し客観的な視点での見立てを行っている。また、モニタリングで保護者のニーズを聞き取り個別支援計画の目標設定に反映している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			定期的な頻度でアセスメントシートの更新をしていく

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		モニタリングの内容や支援者の見立てなどを総合的に加味し、具体的目づ、利用者や保護者のニーズに合わせた目標と支援内容を設定している	「地域支援」に向けた支援内容はなかなか設定に難しさがある。しかし、支援を通して徐々に地域に移行していく見通しは常に事業所として考えていく	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援計画の目標に沿った支援を行っている		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		支援プログラムについては個別支援計画をもとに、個々のお子さんに合った内容を職員全体で共有しながら立案している	研修で得た知識を取り入れる等、固定化されたプログラムにならないようにしていく	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		保護者の方からのニーズ、お子さんの発達段階や課題等を事業所内で情報共有し、工夫のアイデアを出し合いながらプログラムを考えている		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		基本的に個別支援を前提として支援計画作成。不定期開催にはなるが、小集団療育も行い、そこで集団活動での課題の把握やそれに対する支援をしている	個別支援でのきめ細かい支援を提供しつつ、定期的に小集団活動を開催し、多面的にお子さんの様子を確認していく	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2			定期的に職員 MTG を行い、支援の方針などを話し合う
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		就業後に職員全体で 1 日の振り返りや共有事項、明日の予定についての確認をしている		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援内容については担当した支援員が支援記録に記入し、記入後は他の職員が内容を確認	引き続き、継続していく	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		通常 6 か月期間のモニタリングを行い、目標の見直し等の検討をしている	必要であれば、都度モニタリングを実施し、支援計画の目標を改めて設定する		
関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	担当者会議には基本的に児童発達管理責任者が参画。状況に応じて支援員にも参画する		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3		今後、さらに地域との密な連携を目指していく。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)			現在、該当児なし		

の 連 携		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在、該当児なし	
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		支援後は保護者の方とのフィードバックの時間があり、そこでいまの課題や困り感などがあればお聞きし、必要であれば次回以降の支援に組み入れていく	引き続き、保護者の方の意見を傾聴し適切な目標を設定し、支援を行っていく
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		現状、プログラム化されたペアレント・トレーニングは実施できてはいない。ご要望に応じて検討していく
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		都度、丁寧な説明を心掛けている。必要に応じて、市に問合せなどを行っている	引き続き、管理者が窓口となり丁寧な対応を心掛ける
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			引き続き、継続していく	
③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		日常生活における課題などをお聞きし、支援に取り入れている。必要な時には、面談を行っている	保護者の方から気軽にご相談頂ける環境や関係性を今後も築けるよう努めていく	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		状況を見て、ニーズに応えられるようにしていく	

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		管理者が窓口となり対応。内容については、すぐ内部で共有し対応・対策について検討し、周知までを迅速に行う	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		教室ブログの更新、LINE やメールを活用し全体への周知を行っている	発信する内容について、ご利用されているお子さんや保護者の方に有益な情報も今後発信していく
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人ファイルや PC に関して、使用後には鍵付きのロッカーや引き出しに必ず保管している	引き続き、管理を徹底していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		複数の伝達手段を整備し、日常的なやり取りができる環境を整えている	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		各種マニュアルごとにファイリング。定期的に注意喚起などを行い、事業所内の対策について発信	掲示物やブログなどを活用し、継続して事業所から発信をしていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		水害、地震、火災など複数の非常災害を想定した避難訓練を実施している	可能な範囲でお子さんや保護者の方にもご協力を依頼し、避難訓練を実施する
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			ご利用前の面談で確認をし、記録については個人ファイルに保管する
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	現在、対象児なし	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			今後も継続していく。危機管理の意識を事業所全体で常に高める為、定期的な職員同士の振り返りの機会をつくっていく
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		全職員を対象とし、虐待防止研修を行っている	チェックリストの活用や職員同士の声掛け等を日常的に行い、継続して意識を高く持つ仕組みを作る
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	内部で共有している	身体拘束の判断については予めマニュアル化し職員周知を行う。また、契約時に保護者への説明を引き続き行う

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校 保護者等数（児童数）： 35 回収数： 32 割合： 91%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	1			できれば個室があると良い	パーティションや一時的な相談室の活用等で必要な時に対応していく
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	4		3	一対一でじっくり関わりその子に合わせたペースで支援を行っている	引き続き、価値ある支援を提供していく為に適切な体制を整える
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	3	3		階段が急	建物の改修等の対応は難しさもあるが、必要な時に職員が補助を行ったり、掲示物等で注意喚起を行う等、できる限り対応していく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32					現在、安心してご利用頂けるよう継続して感染予防対策等に努めていく
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31			1		個別支援計画に沿った支援を今後も提供していく
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	2				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	4	9	12	必要と感じていない	ニーズをお聞きした上で、適切に対応していく
保 護 者 へ の 説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31		1			
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31		1			

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	14	9	2	7		事業所でご提供できるプログラムについて今後検討していく
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	5	2	2		ご希望をお伺いし対応していく
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	8	8	9	コロナの影響により行えないと思う リモートもあったら嬉しいです	状況とニーズを踏まえながら、リモートを含めた開催方法については検討していく
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	1		2	LINE の連絡やお知らせで便利になりました	連絡手段は各ご家庭の事情になるべく沿う形で整備していく。また、お子さんや保護者の方の相談、申入れに関しては随時対応が可能
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	2				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	4	1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	30	1		1		個人情報に関しては事務室で管理。ご契約時に個人情報の取り扱いについて説明
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21	4	1	6		今後、ブログや掲示物での発信を検討し、各種マニュアルについてや訓練等の実施を周知していく
非 常 時 等 の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	5	1	14		自然災害や不審者などの緊急時の対応を想定した訓練を定期的に開催していく
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	30	2			園以外の出来事を話すきっかけになり、本人も楽しんでいる様子が伺える	今後もお子さんにとって通所が楽しみに思える事業所を目指していく
満 足 度	㉓	事業所の支援に満足しているか	30	2			保護者の意見を取り入れてくれたり、子どもの興味・関心などに合わせた教材やテーマを提供してくれている	個別支援の強みを生かして、お子さんや保護者様に寄り添った支援を今後も提供できるよう努めていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。